

別表－１

レディーミクストコンクリート標準使用基準

〔土木工事〕 <span style="float:right">(平成30年10月1日以降公告閲覧の工事から適用)</span>								
無筋 及び 鉄筋別	構造物の種類	セメントの種類	呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	粗骨材 最大寸法 (mm)	最小セメント 使用量 (kg/m <sup>3</sup> )	最大 水セメント比 (%)	備 考
無筋 コン クリ ート	均し・捨てコンクリート、基礎コンクリート※	高炉セメント(B種)	18	8	40	－	65	
	側溝、管渠巻立、集水桝、石積(張)、 ブロック積(張)の胴込・裏込・天端、ガードレール基礎(端末支柱) トンネル覆工(インバート)、擁壁、水路、重力式構造物(橋台)、落差工 帯工、床固工(溪流保全工内)、治山ダム、河川護岸用法留、河川用根固ブ ロック	〃	18	8	40	－	60	
	海岸構造物、海岸用消波ブロック	〃	18	8	40	－	55	
	トンネル覆工(NA T M、小断面、矢板工法アーチ、側壁)	〃	18	15	40	270	60	
	砂防えん堤(堤体、側壁、水叩)、床固工(単独、溪流保全工上流端)	〃	18	5	40	－	60	
	砂防えん堤(堤冠部)	〃	21	5	40	－	60	
	コンクリート張工	〃	16	3	25	265	60	※設計基準強度
鉄筋 コン クリ ート	堰、水門、潜函、側溝蓋、井筒、ポンプ場	〃	21	8	25	－	55	
			21	12	25	－	55	
	同上(直接海水の影響を受ける構造物)	〃	21	8	25	330	45	
			21	12	25	330	45	
	橋梁下部工、擁壁、函渠	〃	24	8	25	－	55	
			24	12	25	－	55	
	ラーメン構造物、RCスラブ、RC T 桁、RCホロースラブ、 橋梁路掛版、地覆、剛性防護柵、樋門(管)	普通ポルトランドセメント	24	8	25	－	55	
			24	12	25	－	55	
	深礎	高炉セメント(B種)	24	8	40	－	55	
			24	12	40	－	55	
	非合成桁床版	普通ポルトランドセメント	24	8	25	300	55	
			24	12	25	300	55	
	リバース杭、ベノト杭等場所打杭用(水中コンクリート)	高炉セメント(B種)	30	18	25	350	55	
	PC橋(横桁・床版場所打部)、合成桁床版 プレテン I 桁中詰、PCホロースラブ中詰	普通ポルトランドセメント又は 早強ポルトランドセメント	30	8	25	－	55	
			30	12	25	－	55	
	ウォーキングによる場所打ちボスティング(中空床版、箱桁、斜材付π型ラーメン) PCπラーメン橋	〃	36	8	25	－	55	
			36	12	25	－	55	
	PCボスティング(T桁、張り出し・押し出架設の箱桁)	〃	40	8	25	－	55	
			40	12	25	－	55	
	舗装コンクリート	高炉セメント(B種)	曲げ4.5	2.5	40	－	55	
	同 上	〃	曲げ4.5	6.5	40	－	55	

注) 1) 構造物の種類は、標準的な例を示したものである。

2) 各種技術指針、示方書及び構造計算書等に定めのある場合は、それによること。

3) レディーミストコンクリートの仕様は、設計図書に明記すること。

4) 高炉セメント(B種)は、寒冷期(11月1日～3月31日)には原則として使用しないこと。

5) 高炉セメント(B種)で発注した工事であっても、下記に該当する場合は協議により設計変更することが出来るものとする。

① 当該現場地域で高炉セメントコンクリートの供給能力がない場合

② 著しく気象条件が悪く、コンクリートの品質低下の恐れがある場合

③ 災害復旧等、緊急を要する工事の場合

④ その他、監督職員が高炉セメントの使用が困難と認めた場合

6) 構造物の種類によりスランプ8cm及び12cmとある場合は、12cmを標準とする。  
(詳細は、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン(H29.3)」によるものとする。)

※河川護岸用コンクリートブロック積み(張り)工の基礎コンクリートは、河川護岸用法留として扱うこと。